

DX推進の“あるある課題”を解消！

AIのプロフェッショナルが無料で診断！

# DXセカンドオピニオン のご紹介



# DXセカンドオピニオンとは

DX推進している企業や、これからスタートする企業を対象に  
DXにおける自社課題やゴール、進捗状況を  
客観的に診断・アドバイスするサービスです。

## DXのAs-Is/To-Beがわかる



現状課題を可視化！



ICT利活用状況を診断！



プロジェクトの進捗を確認！

AIのプロが  
DX推進を  
サポート！



# DX推進で“よくある”課題

DXを推進している企業、これから始める企業においては、  
次のような課題感を持つ担当者が少なくありません。



**DXを推進しているものの、  
何がゴールか  
わからなくなってきた**

“とにかくDX”でプロジェクト  
をスタートしたものの、徐々に  
DX推進自体が目的化してしまい、  
ゴールを見失ってしまった。



**支援会社の定例会議  
最近、内容が専門的で  
ついていけない**

DX支援会社との定例会議では、  
わかりづらい専門用語が飛び交  
いがち。内容が理解しづらく、  
進捗も追えなくなってしまった。



**今さらながら  
DXを進めたい！  
でも何から手をつければ!?**

業務効率化のためにICTを活用し  
ているが「それはDXではない」  
と言われた。それなら、DX推進  
とはいったい何をすれば良いの  
か!?

# DXセカンドオピニオンが“よくある課題”を解消！

企業にありがちな「とりあえずDXを進めている」状態からの脱却を目指し  
現状把握から今後の進め方まで、トータルでアドバイスします。



**DX企画立案テンプレートで  
現状課題を可視化！**

製造業をはじめ、様々な業界への支援で得た知見を詰め込んだ「DX企画立案テンプレート」を活用して現状課題を可視化し、ゴールへの道筋を整えます。



**AIのプロフェッショナルが  
ICT利活用状況を診断**

すでに進行しているDXプロジェクトについて、ICT利活用が適切に行われているか診断し、必要に応じてアドバイスを行います。



**わかりにくいプロジェクトの  
進捗も把握できる！**

専門的な内容もわかりやすく噛み砕いて説明。また、プロジェクトが適切に進行するように、支援会社やベンダーへの質問も用意することも可能です。

- 故障予測システムのプランニング
- 従業員数約13,000人 2024年6月時点

## ヒアリングを通じて、 工場DXでの故障予測 システムをプランニング



### 支援前の課題

- とにかく万能なAIを作りたい。
- なんとなくの経験や勘で判断してしまっている。
- 実施後の効果推定が曖昧になってしまっている。

### 支援を通じた課題整理

- 故障予測に特化した予測モデルを構築する。
- センサーデータの基礎集計を通じて、仮説を構築する。
- 人件費や機会損失を加味したROIを設計する。

# 料金

DXセカンドオピニオンは  
2回の面談まで無料のサービスです。



※ 追加の面談をご希望の方は別途費用がかかります。詳しくは電話またはメールでご相談ください。

# ご利用の流れ

## お問い合わせ

まずは電話またはメールでお問い合わせください。  
その後、弊社からメールでヒアリングシートをお送りします。



## ヒアリング日程調整

メールを通じて、ヒアリングに対応できる日程をご連絡ください。



## ヒアリング

オンラインで30分ヒアリングさせていただきます。



## セカンドオピニオン1

ヒアリング内容を踏まえ、御社のDX推進プロジェクトの現状についてお伝えさせていただきます。



## セカンドオピニオン2

1でお伝えした内容を踏まえ、御社のDXのために最適な道筋をご提案します。

# よくある質問

| Q                       | A   |
|-------------------------|---|
| 何でも答えてくれる、万能型のAIは開発できる？ | いわゆる万能型のAIは、課題に合わせて個別に最適化されたAIと比較して、判断の正確性に劣るケースが多いです。また、万能型のAIの開発は、コストも膨らみがちです。AI活用は課題解決のための手段であることを踏まえると、現状では多くの場合、課題に合わせてAIを個別に開発することが望ましいと言えます。   |
| DX推進では、AI活用がマスト？        | DXとは、デジタル技術の活用により環境変化に柔軟に対応できる組織体制を整えることを指します。例えば、ローコード・ノーコードツールを活用して、自社で業務活用アプリ開発を内製化するような取り組みを挙げることができます。<br>AIも、こうしたデジタル技術のひとつであり、DX推進に必ずしも必要なものではありませんが、適材適所で導入することでアナログな業務を大幅に効率化することができます。特にAIは、予測や分類などの業務を自動化する際に効果的なデジタル技術だと言えます。 |
| そもそもAIではどんな課題が解消できる？    | AIは、予測や分類といった業務を高速で実施することができるツールです。従来、人が予測・判断することで精度が低かったり、工数がかかりすぎていたような業務は、AIを活用して自動化するとビジネスインパクトを生みやすいです。<br>例えば、「ダイレクトメールの内容に合わせて送付先リストを選定する」といった業務は、AIの導入効果が発揮されやすいケースです。  |

# 代表自己紹介

代表の永沢をはじめ、DXに精通したメンバーが中心となりサービスを開発  
業界や業務を深く理解した人材が多い点がサービスの強みにつながっています



## 永沢大樹

DXシステム開発

統計学・AI

帝京平成大学臨床工学コース卒（特待生）。藤田医科大学客員研究技術員、日本発条株式会社にて人間工学的に研究開発に従事。その後、DX開発ベンチャーを経て、様々なDXプロジェクトを経験する中で、課題解決のためのDXソリューション提供をしたいと思い立ち、株式会社M2DSを創業。

メンバーには下記のようなスキル・経験を持つメンバーがおります。

- ・30年以上のキャリアを持つ、マーケティングとDXを融合させたソリューション提供を得意とするデータサイエンティスト
- ・単にビジネス課題を可視化するだけでなく、最適なデータ構造を設計し、提供できるデータエンジニア
- ・顧客課題に応じた最適なクラウド環境を設計し、AIのクラウドシステム化の経験ある機械学習エンジニア
- ・クライアントのナレッジを反映した生成AI開発スタッフ

# 会社概要

企業の課題解決に向けたデータコンサルティング・ソリューションをご提供しています。



|      |   |
|------|---|
| 商号   | 株式会社M2DS  |
| 代表   | 代表取締役社長 永沢 大樹   |
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"><li>1. ヘルスケアアプリケーション開発販売に関する事業</li><li>2. データサイエンスに関するコンサルティング</li><li>3. 医療機器製造販売事業</li><li>4. 医学及び人間工学研究開発に関する支援事業</li><li>5. 医療DX(デジタルトランスフォーメーション)に関する支援事業</li><li>6. データサイエンスに関する研修事業</li><li>7. 前各号に附帯関連する一切の事業</li></ol> |
| 資本金  | 100万円   |
| 設立   | 2022年11月24日   |
| 拠点   | (本社) 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号 桑野ビル<br>2階   |

# お気軽にお問い合わせください

DXに関する疑問・質問は、下記よりご相談ください。

## 電話でのお問い合わせ

**03-6824-1353**

平日09:00～18:00

## メールでのお問い合わせ

**customer\_service@m2ds.jp**

会社名・氏名・メールアドレス・電話番号を  
ご記入の上、お問い合わせください

**<https://www.m2ds.jp/>**

当社のホームページでも資料請求・お問い合わせができます。資料の郵送も承ります。



**M2DS**

人と市場にデータサイエンスの果実を